

第3回屋久島町スクールバス運営等検討委員会

《 会議録 》

日時：令和2年11月24日（火）18：35 から

場所：屋久島町本庁舎 2階会議室

【 出席委員 】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ・榎 光徳（町議会議員） | ・眞邊真紀（町議会議員） |
| ・局富美男（区連会会長） | ・田中三九雄（区連会副会長） |
| ・矢野憲一（PTA代表） | ・泊征一郎（PTA代表） |
| ・緒方健太（PTA代表） | ・池田道春（PTA代表） |
| ・古里和彦（岳南中学校長） | ・三善宏也（宮浦小学校長） |
| ・永田 昇（安房小学校長） | ・濱元 弘（八幡小学校長） |
| ・塩川文博（屋久島町教育委員会教育長） | ・鎌田勝嘉（屋久島町役場総務課長） |

【 事務局 】

- | | |
|------------------|---------------------|
| ・計屋正人（教育振興課長） | ・有馬寿二（教育振興課統括係長） |
| ・岩川宏大（教育振興課管理係長） | ・真辺侑也（教育振興課社会教育係主任） |

会次第

- 1 開会
- 2 報告
 - (1) 作業部会検討事項報告について
- 3 協議
 - (1) 遠距離通学児童生徒の対象距離改正について
 - (2) その他
- 4 閉会

司会進行 有馬寿二

開 会

○開会のあいさつ

○事務局より委員変更の報告

○委員長：それでは、会次第に沿って進めさせていただきます。
2番の報告 作業部会検討事報告を作業部会からよろしくお願いします。

○作業部会より作業部会検討事項の報告について説明

○委員長：参考資料の説明を事務局よろしく願いいたします。

○事務局より参考資料の説明

○委員長：それでは質疑に入ります。作業部会に質疑なのか事務局に質疑なのか明確にして質疑応答します。

○委員：バス会社の方にとって運行計画、バスの配車や時間帯の問題とかはクリアできるのかどうか。バスが増えることによって、当然財政的なチェックや折衝もしなければいけないが、そこはクリアできるのかどうか。この2点をお伺いします。

○事務局：ご質問がありました、バス会社の話なのですが、事務局と作業部会で話し合った案ですので確実に大丈夫ですとは言えません。本日話し合いをした結果をもとに、バス会社とお話をしようと思っている。ただ、これは全部スクールバスにしたときの話ですが、今実際に路線バスでこの時間に走ってはいる。今は2km までの子どもを乗せていないという話です。このバスは実際今走っていて、学校から4km までの子どもたちを乗せていないですので、そこを乗せることは可能ではないかと思っている。

○委員：作業部会も同じです。作業部会の意見をもとに次の段階に進むべきではないと思っている。作業部会はあくまでもこの検討委員会から情報の精査を依頼されているという形なので、これを決めるのは委員会であって委員会で決まったら、これからバス会社と話を進めるのが筋ではないかと思う。

○委員：それから、財政的なことです。台数が増えるこれによってどのようになるか試算はまだしていないのか。

○事務局：試算している。ここで今いくらは申し上げられませんが、試算し、その旨財務とも話している。ただ、バスの運行ダイヤが可能であるかが一番大きなところになるのではと思っている。

○委員長：作業部会それから検討委員会としても、財政的なところは行政にお任せをして我々は、出された課題について精査をしてまとめて報告をするということですから、財政的なことは今日ここで話がまとめれば一任したいと思う。

○委員：北部の運行に南部も併せていただきたいという声が多くあったので、この条件になると、今まで北部の基準なら乗れるんじゃないかとおっしゃっていた方がみんな乗れるんじゃないかと思う。

岳南校区で尾之間方面の方は歩きたい歩かせたいという親御さん生徒さん、で私もあの道歩いたことあるんですが危ない。自転車も滑りますし、その点両方の意見があつて然りだなと思うが、やっぱり1ページの下に書いてあるとおり、保護者の意見を聞いて実行すべきと、保護者の意見を大事にすべきと思っている。校区ごとに色々な意見あると思うのですが、それも丁寧に聴取してほしい。

安房小学校に、今、スクールバスは入っていないですが、案の中では安房小学校の前にスクールバスが行くようになっていて、これがすごくいいなと思っている。安房小学校の生徒が警察署の前に出てきて待っている子どもが、危なっかしいというか、声かけることもあるのですが、やっぱり時計がなかったりでいつ来るのかわからないまま待っていたり、バスによっては、とおりすぎるバスもあつたりして、行ってしまったという認識をもつ子どももいたりして、そういうことはずいぶん改善されるのかなと思っている。北部は学校の前まで行きますから、そういうのも再度是正してほしいなと思う。

路線バスも並行して使うようになることもあるとは思いますが、スクールバスに乗れない児童生徒もいて、その時にどうせ警察署前にでてこなければいけないとか差がでてくると思う。その差が実際どうなのかというのも整理して導入すべき。校区ごとに差がありすぎるというか、だからこれあくまでも案なのですが、学校前まで行ってくれるのは本当にいいなと思っている。

○**委員長**：今話がありましたことに関しては、学校側と教育委員会で精査していただきたい。

○**委員**：安房中学校は盛久神社周辺で降車になるということか。

○**事務局**：そうです。

○**委員長**：それでは会次第の3の協議に入ります。それでは、事務局お願いします。

○**事務局より遠距離通学児童生徒の対象距離改正について説明**

○**委員長**：事務局からの説明に質問等ないか。

○**委員**：最後の乗車座席に余裕がある場合とはどういうことか。

○**事務局**：資料2ページを開いてください。通常は2kmまでが乗車対象ですが、1.7kmにバス停があると、運行しているバスが36人乗りで、2kmまでに乗っている子どもが30人いたとします。1.7kmのバス停が使えるか使えないかは、6人以下がこのバス停で乗る場合はこのバス停は使えます、7人以上だとこのバス停は使えません。北部の一番近いバス停が1.7kmということと、先ほど作業部会から説明があつたとおり、今後極端に児童生徒が増える見込みがありませんので、先ほど作業部会の報告書があつたものを文章にした形がこの形と思っている。

○**委員**：乗れるか乗れないかは誰が決めるのか。

○**事務局**：教育委員会で業務委託などはしていますので、教育委員会で決める。

○**委員**：それを最終的に決めるのは学校がするのか、教育委員会がするのか。

○**事務局**：教育委員会がする。

○**委員**：中学校の場合は部活動があり、テスト期間がある場合は同じ時間で乗りますので乗車人数が増える。通常の場合は2台でそれぞれ別々で帰るので最大数で言えますけど、部活動がある場

合は人数がばらけるので、例えば1本目の時に10人乗って2本目の時に20人乗れば、1.7kmの区間には先ほどの例では16人乗れます。その時は乗れるようになるのか。そのスクールバスが2本出た時はどうなるのかというのも考えているのか。

○委員：あくまでもこれ定期券を発行する基準です。その日に乗れるか乗れないかではなくて、その子は定期券を持っていれば乗れることになる。

○委員：今の話は、1.7kmの生徒がマックス乗ったとき36人いるかないかで2つに分けた時とかはあまり関係がない話というか、マックスで考えて部活がなくて全員が乗ったとしても、スクールバスで間に合うという計算で算出していると思うので心配しなくていいのかなと。部活が終わって6時台に全員乗ったとしても乗れるという計算なんですよ。

○委員長：今運行計画の案を出しているのですが、これからも細かく精査していくと思うので事務局はよろしくをお願いします。

○委員：改正案の中で最寄りのバス停までの距離が2kmとなっているが、例えば盛久神社が1.7kmですが、自然館の方に住宅がポツンポツンとある。そこに児童生徒がいた場合に、バス停までの距離が1.5kmになってくるが、その場合はこの町長が認めた場合で対応していくのか。

○委員：そのとおりです。作業部会ではそのためにこういう形で考えた。

○委員：改正案で特別な事情により歩行が困難である場合とあるのが、この認識は、距離は関係ないということでしょうか。

○事務局：いろいろな事情があると思う。町長が認めた場合の幅をもたしたいと思っている。距離の話や個別の事情についても、学校と話しながら教育委員会の方で決めさせていただきたい。

○委員：例えば足が不自由なお子さんでもバス通学ならできるという子どもに関しては、距離に関わらず座席に余裕がある場合はバス通学に値するという判断もあるということか。

○事務局：はい。

○委員長：他にありませんか。

「なし」の声あり

○委員長：それでは、作業部会の検討結果それから要項改正について、このまま教育委員会の方に提案したいと思うがよろしいか。

「異議なし」の声あり。

○委員長：それでは、すべての協議が終了しました。本日は、長時間にわたり実のある会議となりました。ありがとうございました。これを教育委員会の方に提出させていただきまして、当初予算に反映していただきたいなと思います。ありがとうございました。

○事務局：以上で第3回屋久島町スクールバス運営等検討委員会を終了いたします。

閉 会